

やってみよう！子育て自己診断チェックリスト (小学校1～3年編)

以下の項目において、自分にあてはまると思われるところに○をつけて下さい。



- 例. 子どものことを愛している。 6---5---4---3---2---1
01. わがママを言って聞かないときは叱るか怒鳴るか、お仕置きをするのが一番効果がある。 6---5---4---3---2---1
02. 子どもが親のいうことを聞くのは当たり前のことだ。 6---5---4---3---2---1
03. 子どもが間違いを犯したときは、罰を与えるのが一番だ。 6---5---4---3---2---1
04. 子どもの人権などというのは、子どもを甘やかしているに過ぎない。 6---5---4---3---2---1
05. 子どものために親のしたいことを我慢するのは当然だ。 6---5---4---3---2---1
06. 私はいつでも子どもに頼りにされる存在でありたい。 6---5---4---3---2---1
07. 妻(夫)としてよりも、母親(父親)としての役割意識が強い。 6---5---4---3---2---1
08. 子どもはかけがえのない私の分身だ。 6---5---4---3---2---1
09. 自分の子どもを、よその子どもやきょうだいといついで比べてしまう。 6---5---4---3---2---1
10. 他の子と比較して、自分の子どもの欠点や失敗ばかりに目が向きがちである。 6---5---4---3---2---1
11. 「早くしなさい」「言うことを聞きなさい」「何度言ったらわかるの」といったことが口癖である。 6---5---4---3---2---1
12. 「この子は、生まれつきこういう性格なのだからダメなのだ」と思うことが多い。 6---5---4---3---2---1
13. 子どもからごねられると、結局、子どもの言うことに応じてしまうことが多い。 6---5---4---3---2---1
14. 子どもから上手にねだられると、「ダメ」ということができない。 6---5---4---3---2---1
15. 子どもがコップの牛乳をこぼしたりすると、親がすぐに台ふきんなどで拭いてあげている。 6---5---4---3---2---1
16. 小遣いの前借りを求めてきたとき、しかたなく、前借りをつい許してしまう。 6---5---4---3---2---1

と かなり やや 全
も なり や や
そ ほう そ そ
う ほう そ そ
だ だ だ だ
5 4 3 2 1

と かなり やや 全
も なり や や
そ ほう そ そ
う ほう そ そ
だ だ だ だ
6 5 4 3 2 1

17. 子どもが努力しているとき、「がんばっているんだね」とその努力を認めるようにしている。 6---5---4---3---2---1
18. 子どもが協力してくれるときなど、「ありがとう。助かるよ」とその貢献に感謝している。 6---5---4---3---2---1
19. 夏休みには、家族でキャンプなどを楽しむことが多い。 6---5---4---3---2---1
20. 子どもと一緒に、庭いじり・サイクリングや釣りなどを楽しむことが多い。 6---5---4---3---2---1

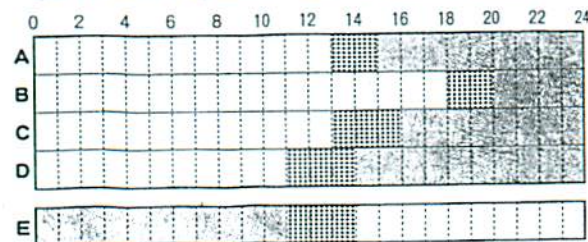
【集計の仕方】

A B C D Eという五つの側面に分けて集計します。それぞれの側面は4項目ずつの合計得点で計算します。「とてもそうだ」を6ポイントとして、それから順に最後の「まったくそうでない」を1ポイントとして、4項目ずつの合計得点を求めてください。

【集計表】

	A	B	C	D	E
01	05	09	13	17	
02	06	10	14	18	
03	07	11	15	19	
04	08	12	16	20	
計					

【子育て自己診断チェックリスト結果】



□ OKです! ■ 気を付けて! □ 見過した!



やってみよう！子育て自己診断チェックリスト (小学校4～6年編)

以下の項目において、自分にあてはまると思われるところに○をつけて下さい。



- | | | | | | | |
|--|------------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| | と
ても
そ
う
だ | か
な
り
そ
う
だ | や
や
そ
う
だ | や
や
そ
う
で
ない | か
な
り
そ
う
で
ない | 全
く
そ
う
で
ない |
|--|------------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
- 例. 子どものことを愛している。 6----5---(5)---4----3----2----1
 01. わがままを言って聞かないときは叱るか怒鳴るか、お仕置きをするのが一番効果がある。 6----5----4----3----2----1
 02. 子どもが親のいうことを聞くのは当たり前のことだ。 6----5----4----3----2----1
 03. 子どもが間違いを犯したときは、罰を与えるのが一番だ。 6----5----4----3----2----1
 04. 子どもの人権などというのは、子どもを甘やかしているに過ぎない。 6----5----4----3----2----1
 05. 子ども部屋を片づけるのは母親のつとめだ。 6----5----4----3----2----1
 06. 子どもの将来が心配だ。 6----5----4----3----2----1
 07. 子どもが泣かされたりいじめられたりすると、相手の子どもや親に比べてかかいたい気持ちになる。 6----5----4----3----2----1
 08. 朝、遅刻しないように子どもを起こす、持ち物や宿題を忘れないようにさせることなどは、親の役目だ。 6----5----4----3----2----1
 09. 自分の子どもを、よその子どもやきょうだいといついで比べてしまう。 6----5----4----3----2----1
 10. 他の子と比較して、自分の子どもの欠点や失敗ばかりに目が向きがちである。 6----5----4----3----2----1
 11. 「早くしなさい」「言うことを聞きなさい」「何度言ったらわかるの」といったことばが口癖である。 6----5----4----3----2----1
 12. 「この子は、生まれつきこういう性格なのだからダメなのだ」と思うことが多い。 6----5----4----3----2----1
 13. 子どもからごねられると、結局、子どもの言うことに応じてしまうことが多い。 6----5----4----3----2----1
 14. 子どもから上手にねだられると、「ダメ」ということができない。 6----5----4----3----2----1
 15. 子どもがコップの牛乳をこぼしたりすると、親がすぐに台ふきなどで拭いてあげている。 6----5----4----3----2----1
 16. 小遣いの前借りを求めてきたとき、しかたなく、前借りをつい許してしまう。 6----5----4----3----2----1

と
ても
そ
う
だ

か
な
り
そ
う
だ

や
や
そ
う
だ

や
や
そ
う
で
ない

か
な
り
そ
う
で
ない

全
く
そ
う
で
ない

17. 子どもが努力しているとき、「がんばっているんだね」とその努力を認めるようにしている。 6----5----4----3----2----1
18. 子どもが協力してくれるときなど、「ありがとう。助かるよ」とその貢献に感謝している。 6----5----4----3----2----1
19. 夏休みには、家族でキャンプなどを楽しむことが多い。 6----5----4----3----2----1
20. 子どもと一緒に、庭いじり・サイクリングや釣りなどを楽しむことが多い。 6----5----4----3----2----1

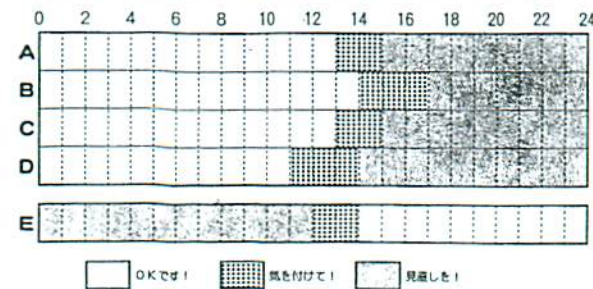
【集計の仕方】

A B C D Eという五つの側面に分けて集計します。それぞれの側面は4項目ずつの合計得点で計算します。「とてもそうだ」を6ポイントとして、それから順に最後の「まったくそうでない」を1ポイントとして、4項目ずつの合計得点を求めてください。

【集計表】

	A	B	C	D	E
01	05	09	13	17	
02	06	10	14	18	
03	07	11	15	19	
04	08	12	16	20	
計					

【子育て自己診断チェックリスト結果】



【結果の読み取りと解説】

その側面の傾向が強い場合をまとめてあります。点数は、その点数以上の方がいたい20-25%存在する点数を基準にしてあります。

A. (1-4項目の合計) 15点以上の人

これらの項目の得点が高い人は、子どもの上立って、子どもをコントロールしようという思いを、心の奥にもっている人です。子どもは、ある程度の年齢まで、それに屈服して見かけ上は続けますが、いつか爆発して反抗するか、自分が強くなってから親に仕返しできるようになるまで服従し続けるかもしれません。

B. (5-8項目の合計) 20点以上の人

この得点の高い人は、やはり子どもを下に見て、子どもを弱い存在、守ってあげるべき存在とみなしています。そのため、あれこれとお世話してあげては、「私がいないとこの子はダメになる」と思っています。そして甘やかされた子どもは、自分には能力がないと感じ、自分を憐れみ、他人のせいにならんとするのです。

C. (9-12項目の合計) 16点以上の人

この得点の高い人は、完璧でなければならぬと考え子どもにもそれを求めます。子どもの欠点を見つけては気にすることが多く、子ども自身も完全主義者として振る舞うように育つが、何かをしても自分の不完全さを気にした、自己肯定感をもてない人間に育ちがちです。例えば0か100かといった見方や考え方をもっていることがあります。完璧でない自分は一気に価値のない状態にみなしてしまうのです。

D. (13-16項目の合計) 14点以上の人

この得点の高い人は、自分よりも子どものほうが重要だと考えているようです。そのため、子どもに毅然として「ダメ」と言えず、ズルズルと、それを許してしまいます。子どもは、ちょっとした主人であり、自分の思い通りに誰かが何かをしてくれるものと考えていたり、他人の権利を尊重しない人間に育つことになりやすいのです。

E. (17-20項目の合計) 14点以上の人

この得点の高い人は、子育てを楽しむことができ、また、パートナーとともに自分の人生を大切にすることができているようです。そして、親と子の家族としてのまともな生活大切にしているということもわかります。そのような家族のもとで育った子どもたちは、両親で子育てや家事などを、それぞれの仕事とも両立させるように話し合いながら進めることのできる学習をしていることになるでしょう。



◇ワンポイントアドバイス

Aの得点の高い人：お子さんが「お母さん、……していい？」とか「これでいい？」などといちいち聞いてきたりするようになっているならば、心配ですね。自分である程度考えてやっていくことができると、自分のことを思うことができなくなっている可能性があります。子どももその年齢なりに自分の考えをもつことができている。親からの指示・命令や評価で動かすのではなく、「あなたはどうしたい？」とか「あなたは どう思うの？」などと子どもの考えを引き出してください。そして、「なるほど、……してみようと思うんだね」と、自分で行動を選択する力がある子どもだと信じていることを、ことばと態度で示していただけると幸いです。

Bの得点の高い人：Aの高い人と同様の側面以外に、かわいそうという思いで先回りしてやってあげてしまうところが強く、そのことが子どもをだんだんと自分ではできない人間にしていきます。失敗しても「あら、残念だったねえ。でも、次はどうしようと思うの？」とか、「あなたならきっとできると信じているよ」と「勇気づけ」しながら、自立を支援するのがかわりのポイントだということでしょうか。また、子どもにも手伝いなどで「ありがとう」と「勇気づけ」ながら、家族の役に立てる存在としての価値を感じてもらうこともできるでしょう。

Cの得点の高い人：我々親も、人目を気にするような育てられ方をしてきた部分があります。そして親自身も完璧という基準から自分を評価して親としての自信のない状態に自分をしてしまっているかもしれません。親としても完璧な状態を自分に課すのではなく、子どもとともに、失敗することも含みながら一緒に成長していこう、それも一気に自分を変えようとするのではなく、10点満点のうち、すでに3くらいできていると感ぜられるなら、当面の目標は4か5にすることくらいの思いで進めましょう。

Dの得点の高い人：子どもを甘やかし、好き勝手にさせていると、人生の困難にぶつかったとき、誰かがどうにかしてくれると考え、自分の問題として引き受けることのできない人間が育つかもしれません。それぞれの年齢段階で子どもたちが会おう困難には、自分で自分の思い通りにならない出来事にどう対処していくか、その訓練の場となります。本当に子どもを自立できる人間に育てたいのなら、それに見合う方法を選択する必要があります。

Eの得点の高い人：まったく問題はありませぬ。このままでどうぞ子育てとパートナーと自分を大切にしながら、人生を楽しんでいただければ幸いです。